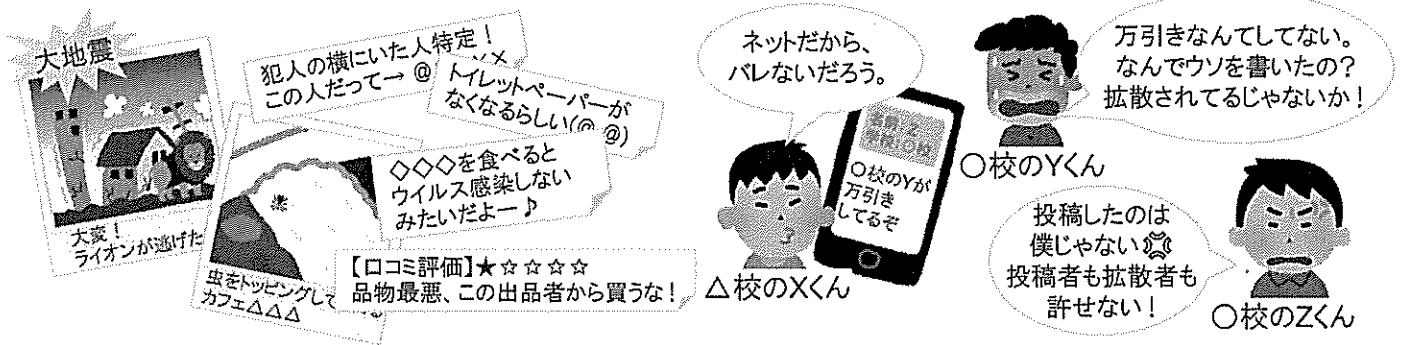




その情報、ホント？ウソ？

ネット上には、人を混乱させるためにわざと流されたデマ情報も。身近な医療健康情報、うわさ話やゴシップネタなどにも、間違った情報がある！

どのようなメディアでも、間違った情報が流布されることはあり得ます。特にSNSの場合、誰もが容易に情報発信できることから、正しくない情報もたくさんあります。中には、騒ぎを起こすことが目的で発信されたデマも。目にした情報をうのみにせず、正確性が判断できない場合には安易に情報を投稿・拡散しないことが大切です。



SNSでは知らず知らずのうちに……

そもそも私たちには、自分が信じたいものを信じる、大勢の人が選ぶものを選ぶ、という特徴があります。また、SNSや検索エンジンでは、以下のような2つの現象が起きがちで、情報が偏る可能性もあります。

エコー
チェンバー

自分と似た考えの人ばかりが
集まるようになってしまった

フィルター
バブル

自分の好み以外の情報が自動的に
はじかれるようになってしまった

自分と似た意見や、知り合いからの情報はつい信用してしまいがちですが、自分に都合が良くても悪くてもうのみにせず、拡散する前に立ち止まって考えてみましょう。デマやフェイクニュースにだまされないように、普段から多様な情報に接することも重要です。

再投稿・拡散する前に気をつけよう！

☑ 他の情報と比べてみる

ネット検索し、複数の情報を読み比べましょう。本や新聞など、ネット以外で調べるのもお勧めです。

☑ 情報の発信元を確かめる

発信元が明らかであっても、信頼できる人なのか、信頼できるWebサイトなのかを確認しましょう。

☑ その情報はいつ頃書かれたものか確かめる

古い情報だった場合、現在とは状況が異なるかもしれないので、注意しましょう。

☑ 1次情報を確かめる

その情報が引用や伝聞の場合、オリジナルの情報源を確かめてみましょう。